

記入例

1. 事業内容など

簡易事業計画書

1	お名前	名古屋 一郎
2	創業予定時期はいつですか	平成 24 年 10 月 頃
3	創業予定場所どこですか	名古屋市昭和区、または天白区
4	業種は何ですか	子供服の小売販売業
5	経営形態はどうしますか	個人事業・株式会社・その他（ ）
6	資本金(出資金)はどれくらいをお考えですか	5, 0 0 0 千円
7	創業されるのはどのような目的、どのような動機からですか	子供服を中心に、アパレル業界での経験が12年あり、独立願望が強くある。現在、名古屋市内には〇〇〇店舗存在するが、関東や関西で扱っていても名古屋では扱っていない商品が多く存在する。また、店舗ディスプレイを含めて商品提案力のある店舗は非常に少ない。したがって、名古屋市および周辺地区のターゲット顧客の潜在ニーズを独自に喚起し、競争力のあるビジネスを展開していきたい。
8	事業の概要を簡単に書きください	どのような市場、ターゲット顧客に対して 名古屋市および周辺地区に居住し、幼児～小学生低学年までの子供を育てる、仕事を持つ母親に、 ・どのような商品、サービスを 競合店では手に入らないブランドやオリジナルの商品(子供服を中心としたコーディネートできるアイテム商品全般)を ・どのように特徴もたせて提供するのか 品質の高さや希少性をベースに、顧客の差別化ニーズを誘うコーディネート提案力で提供する。
9	参入しようとする市場の環境を簡単に書きください	・市場規模 日本全体の子供服マーケットでは〇〇〇〇億円。(実店舗で〇〇〇〇億円、WEB店舗で〇〇〇億円) ただし、名古屋市内では、店舗数は〇〇〇店舗存在し、WEBを除いて推定〇〇億円の規模と考える。 ・市場の成長性 少子化により、全体の長期的トレンドは縮小傾向に向かうと考えられるが、富裕層や一人っ子の洋服にこだわりを持つ母親がここ3年で12%以上の伸びで増えている(資料1.出所△△)ことから、ターゲットを絞ることで、十分に成長が期待できる。 ・市場の特色 実店舗では、既存の間屋経由で商品仕入を行う場合がほとんどで、一定のロット数でなければ仕入れることが難しい。また、半年から1年先の先行予約が幅を利かせているため、小規模店舗では、資金調達がネックになって、思うような仕入れができない傾向にある。WEB販売でも仕入れに関しては、同じような傾向があり、価格競争に巻き込まれる可能性が高い。したがって、価格競争から脱するために、いかにオリジナリティと希少性をうまく訴求していくかがポイントになる。 ・市場で競合になりそうな相手は 名古屋市内の子供服販売店は〇〇店舗あるが、そのうち、高品質で、オリジナリティをうまく訴求している店は、12店舗ある。それぞれにコーディネートに特徴があるが、関東や関西でしか手に入らない商品を置いている店は、2店舗しかない。
10	この事業の競争優位性、セールスポイントはどこですか	・品質、性能、コスト、立地、人、ノウハウなど ①名古屋市内では、ここでしか手に入らないブランド商品とオリジナル商品を販売すること。しかも、独自のコーディネート提案で、顧客のオンリーワン・ニーズを誘うこと。 ②コスト的には、独自の仕入れルートを経験で構築しており、競合と互角以上に戦うことができる。 ③立地は、おしゃれな山の手通りのような、若いお母さん方が自分自身の服も見て回れるような、店舗集積がある集客性の高い地域を想定。 ④人材は、今までの業界経験でネットワークがあるため、優秀な候補者は数名おり、既に2人からは内諾を得ている。 ⑤ノウハウは、今までの業界経験をフルに活かし、利用できるネットワークもフルに利用していく。
11	この事業(商品、サービス)と目指す市場・ターゲットとのパイプはどのように作りますか	・どうやって市場、ターゲットに知らせるのか 当初は、店舗周辺地域への新聞折込チラシ、ターゲット層が購読している雑誌への広告、WEB上での情報発信(SEO対策含む)を中心とする。併せて、口コミ、紹介制度を導入。 ・どのように提供するのか 名古屋では当店でしか手に入らないブランド(WEBでも入手不可)、オリジナリティの高い商品を独自のコーディネート提案力で提供する。 ・どうやって対価を回収するのか 実店舗では、現金、クレジットカード、WEB店舗では銀行振込(先入金)、代引き、クレジットなど。
12	想定されるリスクとその解決策を書きください。	・リスク ①店舗周辺の集客阻害要因、②仕入れルートの破綻、③ターゲット層の見誤り ・解決策 ①案内看板、駐車場の確保など、②複数仕入れルートの開拓と、特定ルートへの集中化回避、③ターゲット層へのアンケート実施、チラシ、雑誌などの媒体別反応率を反映していく。

記入例

2. 必要な資金と資金調達の方法

(金額単位：千円)

必要な資金		金 額	必要な資金	金 額
設備資金	土地	0	自己資金	7,000
	建物	0	親類、知人からの借入金	2,550
	敷金、保証金	2,000	公的機関からの借入金 (年利2.5%、据置なし、5年返済)	8,000
	設備	2,000		
	備品	3,000		
	車両	1,000		
	その他	500		
	(小 計)	8,500		
運転資金	商品などの仕入れ	5,000	その他金融機関などからの借入	0
	人件費	1,500		
	賃借料	600		
	諸経費	900		
	その他	1,050		
	(小 計)	9,050		
合 計		17,550	合 計	17,550

3. 収支・利益計画

(金額単位：千円)

	1年目	2年目	3年目	金額の根拠をお書きください
①売上高	42,000	48,000	54,000	①売上高 (1年目から3年目にかけての伸びは 今までの経験から堅いと考えている。) ・1年目 月平均: 平均単価10千円× 購入客14人/日×25日=3,500千円 ・2年目 月平均: 平均単価10千円× 購入客16人/日×25日=4,000千円 ・3年目 月平均: 平均単価10千円× 購入客18人/日×25日=4,500千円
②売上原価(仕入高)	25,200	28,800	32,400	
③売上総利益(粗利) ③=①-②	16,800	19,200	21,600	
④販売費及び一般管理費	役員給与 (個人事業主は除く)	3,360	3,360	②売上原価 原価率60%(勤務時の経験から55~60%と 幅があるが、平均して約60%としている) ④販売費および一般管理費 ・1年目従業員人件費(月額) アルバイト時給800円 ×5時間/日×25日×2人=200千円 ・2年目従業員人件費(月額) アルバイト時給800円 ×5時間/日×25日×3人=300千円 ・3年目従業員人件費(月額) アルバイト時給800円 ×5時間/日×25日×3.5人=350千円 ・広告費: 2年目以降は若干少なくなりほぼ横ばい。 ・その他: 旅費交通費、光熱費、雑費ほか が含まれ、売上高の10%で算出
	従業員人件費	2,400	3,600	
	賃借料	2,400	2,400	
	広告宣伝費	2,200	2,000	
	支払利息	192	160	
	減価償却費	1,332	333	
	その他	4,200	4,800	
	(小計)	16,084	16,653	
⑤営業利益 ⑤=③-④	716	2,547	3,547	
⑥税引後利益	358	1,273	1,773	
⑦借入金返済財源 ⑦=⑥+減価償却費	1,690	1,606	2,106	
⑧借入金返済額	1,600	1,600	1,600	
別途資金調達 ⑦-⑧がマイナス額るとき	90	6	506	

記入例

4. 創業1年目までの資金計画表

創業1年目の資金計画表 (記入例)												事業名(子供服小売販売〇〇〇) 氏名 名古屋 一郎 平成24年 4 月 1 日				単位:千円	
			開業前・開業時	21年10月	11月	12月	22年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合 計	
売上高	①			3,000	3,000	4,000	3,000	3,000	3,500	4,000	3,500	3,600	3,700	3,800	3,900	42,000	
売上原価(仕入高)	②			1,800	1,800	2,400	1,800	1,800	2,100	2,400	2,100	2,160	2,220	2,280	2,340	25,200	
売上総利益(粗利)	③	①-②		1,200	1,200	1,600	1,200	1,200	1,400	1,600	1,400	1,440	1,480	1,520	1,560	16,800	
販売及び一般管理費	④	役員給与 (個人事業主は除く)		280	280	280	280	280	280	280	280	280	280	280	280	3,360	
	⑤	従業員人件費		200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	2,400	
	⑥	賃 賃 料		200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	2,400	
	⑦	広告宣伝費		500	100	300	100	100	200	400	100	100	100	100	100	2,200	
	⑧	支払利息		16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	192	
	⑨	減価償却費		111	111	111	111	111	111	111	111	111	111	111	111	1,332	
	⑩	旅費交通費		100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	1,200	
	⑪	光 熱 費		100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	1,200	
	⑫	雑費その他		150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	1,800	
	⑬	小 計	④~⑫	1,657	1,257	1,457	1,257	1,257	1,357	1,557	1,257	1,257	1,257	1,257	1,257	16,084	
	⑭	営 業 利 益	③-⑬	-457	-57	143	-57	-57	43	43	143	183	223	263	303	716	
キャッシュ・フロー	⑮	税引後利益		-229	-29	72	-29	-29	22	22	72	92	112	132	150	358	
	⑯	減価償却費		111	111	111	111	111	111	111	111	111	111	111	111	1,332	
	⑰	自己資金														7,000	
	⑱	借 入 金														10,550	
	⑲	小 計 A	⑮+⑯+⑰+⑱	-118	82	183	82	82	133	133	183	203	223	243	261	19,240	
	⑳	設備資金														-8,500	
	㉑	開業時商品仕入														-5,000	
	㉒	借入金返済		0	-133	-133	-133	-133	-133	-133	-133	-133	-133	-133	-137	-1,600	
	㉓	小 計 B	⑲+㉑+㉒	-13,500	-133	-133	-133	-133	-133	-133	-133	-133	-133	-133	-137	-15,100	
	㉔	資金過不足	前月残+⑳+㉓	4,050	3,799	3,748	3,747	3,696	3,696	3,696	3,746	3,816	3,906	4,016	4,140	(4,140)	